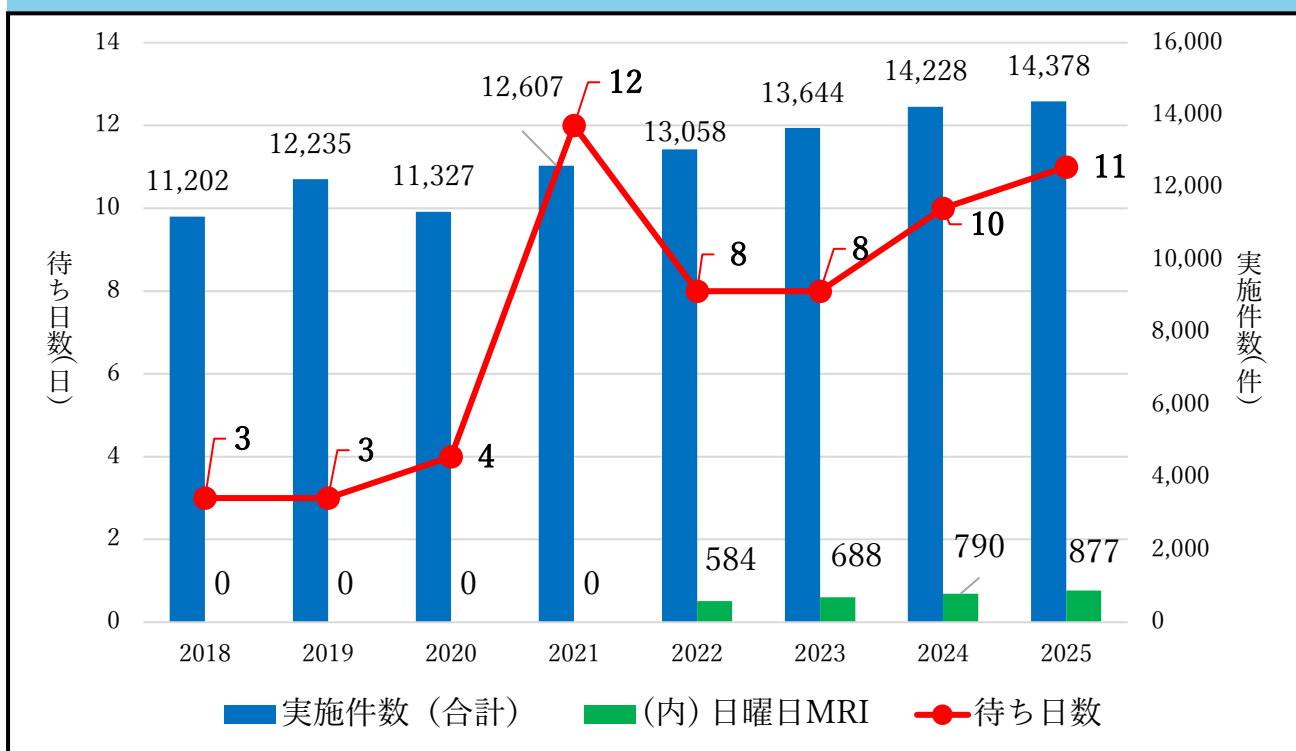


18. 日曜日 MRI 稼働による MRI 検査待ち日数の改善

日曜日 MRI 稼働による MRI 検査待ち日数の改善



➤ 指標の説明

MRI 検査は診断・治療方針決定に直結する検査であり、待ち日数（検査を予約した日から検査を受ける日までの日数）は診療の迅速化を反映する重要な指標です。当院では、検査件数の増加に伴い、待ち日数が増加傾向でしたが、日曜日 MRI 稼働および稼働枠の拡充により、待ち日数の増加を抑制する取り組みを実施しています。本指標は、これらの取り組みの有効性を可視化し、診療・診断の迅速化を目的として評価するものです。

➤ 定義

分子 MRI 検査を受ける全患者の待ち日数（検査を予約した日から検査を受ける日までの日数）

分母 MRI 検査を実施した件数

補助指標 日曜日の MRI 検査導入件数

➤ 評価

ポストコロナ禍以降、MRI 検査需要の増加により予約待ち日数が最大 12 日まで延長し、診療方針決定の遅延が懸念されていました。当院では 2022 年度より日曜日 MRI 稼働を導入し、検査枠の拡充を継続的行った結果、待ち日数は 8～10 日まで短縮し、一定の改善効果が確認されています。

その後、2023 年以降は需要のさらなる増加に伴い待ち日数が再び増加傾向を示していますが、2021 年から 2025 年にかけて検査件数が約 1,800 件増加している状況においても、2025 年時点の待ち日数は 11 日と、導入前と比較して同程度の水準を維持しています。これらの結果から、日曜日 MRI 稼働を含む検査枠拡充の取り組みは、需要が増加する中でも待ち日数の抑制に寄与していると考えられます。今後も稼働状況および待ち日数を継続的に評価し、診療・診断の迅速化と適切な医療提供体制の維持に努めてまいります。